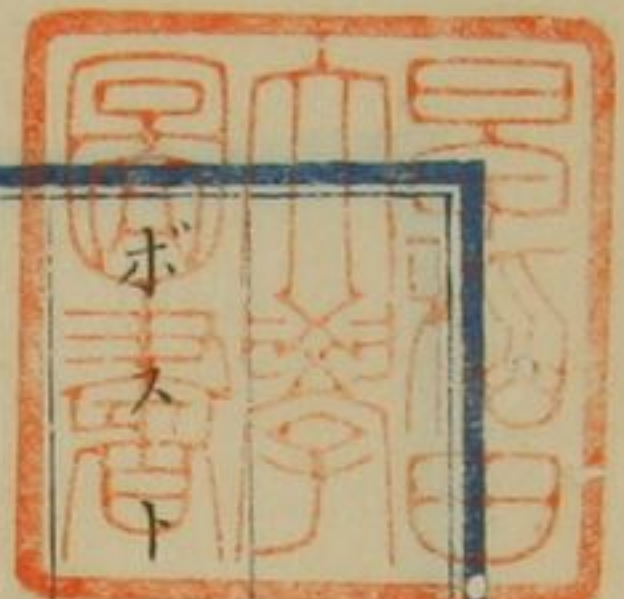


太政官

擴充スルヲ第一必用ナル事ナリト爲スノ時ニ
 ガ爲ノ眩惑ヤラレテ我物産ノ増殖シテ市場ヲ
 時己ニ我が著ルニキ繁昌ヲ享受セルニ依リ之
 ナル勞ヲ以テ之ヲ成就スルヲ得ルナラン當
 利益ニ真成ノ關係ヲ爲ス所ノ事業ハ實ニ僅少
 ヨリ轉ビシムルヲ得タランニハ必ズ我商業ノ
 若シ國會ノ注意ヲシテ暫ラク現時内國ノ事件

米國ト亞細亞洲トノ好機會

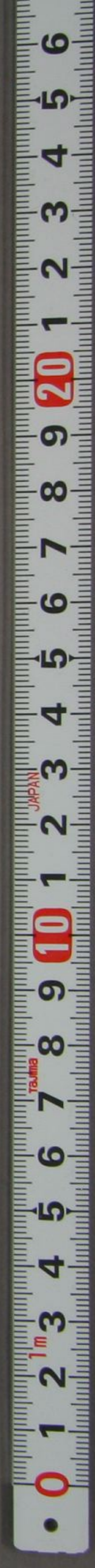
シダユルナル新聞十四年一月十三日



イ14
A 752

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

4050



達スベキコトアルヲ忘ル、ベカラズ英國ニ徴シ
テ我カ國內將來ノ消費殘品ノ爲メニ其賣銷
ノ出路ヲ用意スベキノ適當ナルコトタルヲ曉
知スルニ足ルベシ既ニ經過シタル數年ノ間
ニ就テ見ルニ英國ガ外國政略ノ重モナル者
ハ廣大ナル通商ノ保護ニシテ然シテ其通路
ハ熱心ニシテ敢テ屈撓セザル勇氣ヲ以テ凡
ソ地球上人間ノ居住スル土地ニハ遠ヲ開
カレサルコトナシ而シテ此目的ヲ遂ケンガ
爲ノ行フ所ノ方法中多少其欺罔ニ出ツル

者アリテ幸ニ輓近ニ至レ迄ハ亦タ能ク其目的
ヲ達スルニ足レルガ如キノ狀アリシト雖モ十
有年以來ハ其術策モ稍意ノ如ク行ハレザルニ
至リキ何トナレバ英國ノ行致スル最早半開ノ
邦國ニ於ルモ之ヲ了知スル所トナリ而シテ夫
ノ從來英國ガ孜孜トシテ闖入セント爲シタル
隔遠ノ地方ニ在テハ決シテ喜躍以テ之ヲ迎へ
ザルニ至リタレバナリ譬へバ東亞細亞ニ於ル
如キ英國ハ特ニ其闖入ヲ試ミントスルノ熱心
ヲ現ハセシモ其近接スルニ及ビ誰レカアリテ

之ヲ迎ユル者ナキノミナラズ英國ガ百方手ヲ
盡シテ交通ヲ開カントモシテ其實却テ之ヲ斥
クル者アルナリ蓋シ外邦孰レノ地タルヲ問ハ
ズ交友ノ道ヲ求ムルニ對シ斯クノ如ク斥クル
者ニ非ザルガ如シト雖モ只タ英國ガ闖入スル
所ハ外邦ニ限リテ然リトス譬ハバ他ノ外邦ヨ
リシテ其交誼ヲ表シタラシニ決シテ斯ク頑
然トシテ之ヲ斥クル者ニ非ザルベシ若シ夫レ
彼レヲシテ此國ヨソハ安心ナリ信實ナリト平
素思惟シ信用セシムル所ノ一國ヨリシテ其交

誼ヲ開クベキヲ提出セシムルガ如キトアラシ
ニハ顧フニ彼レ信ニ喜躍シテ之ヲ受ルナルベ
シ之ヲ再言スル片ハ則チ今若シ合衆國ノ政府
人民ガ信ニ東洋諸國ト親密ナル通商上ノ交通
ヲ開カント欲スルガ如キトアリタラシニハ日
ナラズトシテ東洋ヲ制シ以テ自ラ其利源ヲ壟
斷スルトテ得可キナリ蓋シ我合衆國ノ為ノ斯
ル利源ヲ攫取セシム可キノ機會ハ未タ曾テ
有ラザル所ナリ苟モ英國ガ其力ヲ盡シテ其掌
握ヲ逞クセントテ勉ムルノ間ハ我ハ只タ我が

欲望ヲ表セン而巳而シテ我目的ヲ達スルノ道
ヲ得可シ是レ蓋シ一百年間ノ機ナリ我合衆國
ハ果シテ此機ニ乗ズルヲ得可キ歟抑モ又タ此
機ヲ失シテ自己ノ損失ノミナラズ其我ヲ迎フ
ル所ノ東洋諸國ノ困難ヲ招キ而シテ我通商上
一大競争國ノ快樂利益ニ供スルニ至ラバトス
可キ歟

斯ク云ハズ人必ズヤ問題ヲ起シ來ランコト如
何スレバ以テ總テ此等ノ目的ヲ遂ルヲ得可キ
歟將タ又タ此眼前ニ呈出セラル莫望ヲ達センガ

為メニハ如何ナル事擧テ出ツルヲ之レ要ス可
キ歟ト是レ何ノ難キトカ之レアラシヤ今日東
洋諸國一般ノ狀態タルヤ我カ米國ヨリ進ンテ
之ヲ求ムルニ方リテヤ直ニ進ンテ之ヲ迎フ
ルノミナラズ我ニシテ之ヲ請ハズ其最モ開進
有文ノ邦國ヨリシテ直チニ起テ其全盟ヲ約セ
シムルヲ得ルニ至ル可キハ疑ヲ容レズ夫ノ日
本ノ莫望スル所ノ如キハ我合衆國ノ同盟友邦
トナリ自ラ任ジテ亞細亞ヲ興起スルノ先導者
トナリ斯ク數百年不振ノ亞細亞ヲ挽回シ竊ニ

我合衆國ニ助力ヲ仰キ以テ隣國ヲ提醒シコノ
互市開通ノ道ニ同盟スルノ利アルヲ曉ラシメ
ント欲スルヨリ外ナキナリ而シテ彼レ是企圖
ヲ為サント欲スルニ方リ自ラ惟ラク苟モ一大
國ヨリシテ其獎勵保護ヲ仰クニ非ザレバ能ハ
ズト然リ而シテ彼レ亦タ從來經驗ノ在ル所真
正ノ獎勵、信實、交誼ハ只タ佳キニ一國ノ頼ム
ニ足ルヨリ外ナキヲ知レリ彼レ自ラ熱心シテ
奮進ス可キハ疑ヲ容レザルナリ何トナレバ彼
レ今歐洲諸國ノ横暴ニ苦メラレ頗ル困難ノ地

位ニ立ツガ故ニ一國ノ福利ヲ保全セーガ為ノ
ニハ必ズヤ多少奮進セザルヲ得ザル者アレバ
ナリ蓋シ日本ガ欲望スル所ノ舉動タル一國
ノ愛慕スル所トナラント彼レノ狀アリ彼レ
亦タ頗ル其獨立ヲ全クセントヲ渴望セリ而シ
テ彼レ若シ合衆國ニシテ之ヲ賛成セラル、ガ
如キアラバ此目的ヲ達スルニ於テ決シテ何等
ノ困難ナカル可キヲ思考セリ彼レ亦タ其他ノ
邦國ヨリシテ干涉保護ヲ仰カントスルガ如キ
ハ毫モ夢想セザル所ナリ只タ我合衆國ノ賛成

保護以テ彼レヲシテ其自カヲ以テ行フ能ハザ
ル所ノ事物ヲ遂ケシムルヲ得可キナリ彼レ亦
タ我國ニ與フルノ報酬トシテハ彼ガ全カヲ盡
シ以テ我が為ノニ之ヲ假ス所アルベシ今若シ
日本タルヤ總テ東洋諸國ニ向ヒ其關鍵ヲ主宰
ス可キノ要地ニ居ルヲ知り又彼レ歐洲諸國ノ
之ヲ有セザル今日ノ堅塞ヲ成スルノ具ヲ有
スル者タルヲ知ラバ斯ノ如キ邦國ト同盟ヲ求
ムルノ利益アルハ亦タ察スルニ足ル可キナリ
今夫レ日本ノ事物變遷ニ眼光ヲ注射スルノ士

ハ孰レカ該島帝國ノ精神活潑ナルハ以テ直チ
ニ東洋大陸諸州ヲ制スルニ足ル者アルヲ疑ハ
ンヤ然リ而シテ今若シ我レハ我カ正道ニ交註
トヲ以テ彼レニ接スルアバ彼レハ喜躍以テ
我レヲシテ自ニ此渴望ス可キ邦上ニ闖入セシ
メ其利益ヲ博取スル所ヲラシム可キハ其証瞭
乎トシテ日ヲ見ルカ如シ
吾人ガ以上論ビ來レル同盟タルヤ有益且ツ信
用ス可キ者タルハ毫モ疑ヒナキナリ蓋シ早晚
亞細亞トノ我交際ヲ鞏固ナラシメ政治上ニ實

易上ニ之ヲ今日ニ比スレバ尚ホ其關係ヲ親密
ナラシメザルヲ得ザルノ場合ニ至ル可シト雖
モ今若シ直チニ進取ヲ試ムルガ如キアラバ其
事ヲ行フ頗ル易キモ退イテ其時機ノ到ルヲ俟
ツガ如キアラバ或ハ測ル可ラザルノ困難ニ値
フガ如キニ至ル者ナシトモザルナリ譬フバ今
日本ハ國步艱難ノ時ナルヲ以テ苟モ其交情ヲ
提出スル者アレバ喜躍シテ之ヲ迎ヘ以テ我
良同盟ヲ得タルヲ誇稱スルナル可シ又我合衆
國ハ吾人ガ他ノ諸邦ト共ニ二十有餘年ノ間攫

取シタル一ニノ權利ヲ恢復スルヲ以テ彼ガ今
日其最モ切望スル所ノ請求ヲ満足セシムル
ヲ得可キナリ此權利タルヤ我ニ取りテハ其
痛痒相關スル所ニ非ズシテ而シテ彼レニ取り
テハ多少ノ痛痒ヲ覺ユル者ナリ彼レ亦我レ
ニ報ユルニ自國人民中ニ於テ重要ナル貿易ノ
特權ヲ與フルヲ以テスル而已ナラズ直チニ吾
人ヲ助ケテ支那及ビ近隣諸邦ト其貿易交通ヲ
開カシムルナル可シ此一舉タルヤ吾人ハ如何
ニ思考スルモ彼我兩國ノ為メ其正道タル可キ

ヲ信ジテ疑ハザルナリ今夫レ日本ヲシテ從來
英國其他反對ナル政府ノ爲メニ干涉セラレタ
ル妨碍ヲ排除シ去ラシメント欲セバ直チニ其
所置ヲ斷行ス可シ而シテ我合衆國ハ實ニ亦タ
彼我兩國ノ要望ヲ登載セル適當ナル條約草案
ヲ提出シ以テ之ヲシテ直チニ實行セシムルヲ
以テ足レリトス可シ顧フニ一ニ區々タル小妨
碍ヲ排除シ以テ幸ニ其充分ナル交誼ヲ全シ
シムルヲ得ルガ如キアラバ亦タ我國ノ爲メ愉
快ナラズヤ若シ夫レ夫ノ不幸ナル丁蘭償金ノ

一事ニ於ル如キ苟モ我合衆國ノ手裡ニ存スル
間ハ日本ノ所謂小不平黨ヲシテ其他同連累ノ
歐洲諸國ト共ニ合衆國ノ不正ヲ鳴ラサシム可
キノ種子ヲ存セシムル者ナリ此事固ヨリ一鎖
事ナリト雖モ若シ時アリ吾人が今日思惟セル
所ノ者ヨリ重大ノ關係ヲ有スルアルモ亦タ未
タ知ル可ラザルナリ苟モ其財貨ニシテ決シテ
我國ニ屬ス可ラザル者タルヲ知ラバ宜シク之
ヲ其正當ナル所有主ニ還付スルノ愈レルニ若
カザルナリ於是乎我政治家ハ公明正大以テ自

ラ輓近交際上其最モ好況アル企圖ニ從フ可シ
若シ夫レ其練熟ト勉強トヲ以スルハ數年ナ
ラズシテ自ラ東洋亞細亞ノ商權ヲ壟斷スルヲ
得而シテ今日歐洲ノ製造家ニ依リテ供給セラ
レタル幾百万ノ貨物ハ直チニ其直接ナル自然
ノ順路ヲ取リテ之ヲ北米、合衆國ノ工業者ヨリ
仰カセシムルヲ得可キナリ